



令和 7 年 8 月 29 日

こはるび保育園

わかばやし

ご家庭で事故やけがへの注意は万全でしょうか？小さな子供は、まだ何が危険かを予測することができず、好奇心旺盛で怖いもの知らずです。大人が、安全な環境を整えてあげましょう。

## 9月1日 防災の日

いつ起こるのかわからないのが自然災害です。自然に対処するには迅速な避難や心構え、そして「備え」がとても重要です。ご家庭でも災害が起こったらどのように行動するのが最善か、日頃から話しておきましょう。

最低 3 日間、できれば 1 週間は過ごせるように自宅に準備しておきましょう



## 救急の日



9月9日

もしも、家族や友人、職場の仲間など周囲の大切な人が急に病気やけがで倒れたら…特に子どもは急に症状が現れたり、急に病状が悪化したりします。救急車が来るまでに救命処置を行うのが最善の手段になります。この機会に身近な AED 設置場所を確認しておくのもおすすめです。

対応に迷ったときは…

子ども救急電話相談 #8000

救急電話相談 #7119



## 救急箱の中身、 チェックしてますか？

救急箱の中身に決まりはありません。普段使うものを清潔な入れ物に入れておけば OK ですが、滅菌ガーゼや薬は使用期限があります。1 年に 1 回は古くなっているものはないか check しましょう。

CHECK!

### ☐ 絆創膏

けがをした部位に合わせて選べるよう、形やサイズをいくつか用意しておくとう便利。



### ☐ ガーゼと医療用テープ

傷口を保護したり、薬を塗った上にかぶせたりして使います。個包装の滅菌タイプが使いやすいでしょう。



### ☐ はさみ

救急箱専用にしておくとう衛生的で安心です。



### ☐ 毛抜きやピンセット

皮膚に刺さったものを抜いたりするのに使います。



### ☐ 体温計



### ☐ 常備薬

(虫よけ、かゆみ止め、化のう止めなど)



## アレルギーとは限らない じんましん

### どんな症状？

皮膚が赤く盛り上がり、かゆみが出ます。形はまちまちで、次第にくっついて大きくなることも。



### 原因不明のことが多い

じんましんは食物アレルギーが原因と思われるがちですが、風邪をひいて体調が悪いとき、疲れているとき、気温が急に下がったときなどに出ることがほとんどです。

じんましんが出る場所や、治まるまでの時間、かゆみの程度はまちまちで、いったん治まっても繰り返すことがあります。

### 軽ければ様子を見て

治療をしなくても、自然に治まることがほとんどです。じんましんがある範囲がせまく、かゆみがそれほど強くなければ様子を見ましょう。

### ひどいときはかかりつけ医へ

ひどくかゆがる、範囲が広い、なかなか治まらないときは、かかりつけの小児科を受診しましょう。



暑い日がまだまだ続きます。  
朝食、水分、睡眠をしっかりとって登園してください。